

【目次】

地域	No.	要望・意見	対応状況	担当課
野市町	1	水路と小河川の管理に関する要望について	完	農林水産課 契約管財課
野市町	2	市民懇談会カルテについて	完	地域支援課 各支所
野市町	3	婦人会の助成金について	完	生涯学習課
野市町	4	農福連携の体制整備について	完	福祉事務所 農林水産課
野市町	5	空き家対策について	完	住宅政策課
野市町	6	災害に対する取り組みについて	完	防災対策課
野市町	7	香南市の特性を踏まえた施策について	完	市長
野市町	8	若い世代が参加しやすい町内会について	完	地域支援課 各支所 情報政策課
野市町	9	ごみの対応について	完	環境対策課
野市町	10	情報政策課と各課の連携について	完	情報政策課 地域支援課 各支所 防災対策課

NO.	野市町 1	対応状況	完
水路と小河川の管理に関する要望について			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	金高堂書店西側の水路は、使用しているものとしていないものがあり、使用している水路の側壁が、劣化により、10メートルほど倒壊している。市は修理をしないが、このまま放置すると倒壊範囲が拡大してくるが、市はどう考えているか。また、使われていない水路には草木が溜まるが、環境面にも配慮し、用途廃止が必要ではないか。		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■ 【建設課】 現地を確認してから検討する。 【市長】 水路の廃止等については、野市町で多くの方から話がある。水路を使う方、そこに携わる方、周辺にお住まいの方、それぞれに位置づけが違っている。農家の方は必要であったり、必要でないと思う方もいたり、水は上流から下流に流れていくなかで、止めると影響が出ることもあり、すぐに返事はできないので、建設課で現場を確認する。</p> <p>■後日回答■</p> <p>(1回目) ・対応日 令和5年 4月 21日 (金) ・対応課 農林水産課、地域支援課 ・対応方法 要望者に対して、崩壊している水路の状況を説明 (官民境界の境にある構造物の民地側が崩壊したことによる水路崩壊)民地の所有者に市から相談に行く予定であることを伝えた。 ・対応結果 所有者に相談に行く事について、相談者から了解を得た。</p> <p>(2回目) ・対応日 令和5年 5月 1日 (月) ・対応課 農林水産課、契約管財課 ・対応方法 所有者を訪ねて、相談箇所の崩壊状況、土地境界、水路改修に使用できる補助金があることを説明した。 ・対応結果 所有者が自分で判断しにくいとのことで、知り合いの土木関係に詳しい方に相談してみるということでその日は終了した。</p> <p>(3回目) ・対応日 令和5年 5月 8日 (月) ・対応課 農林水産課 ・対応方法 所有者の知り合いの方から水路の状況について確認の電話を受けた。資料にて水路崩壊の経緯と土地境界について説明をした。 ・対応結果 市側の見解に納得いただき、所有者を含めて現地協議を行うこととなった。</p> <p>(4回目) ・対応日 令和5年 5月 29日 (月) ・対応課 農林水産課、契約管財課 ・対応方法 所有者と関係者に現地で状況説明。 ・対応結果 所有者も市の見解に納得いただき、水路改修について市の補助金を利用すべく段取りに取り掛かることとなった。</p> <p>(5回目) ・対応日 令和5年 6月 6日(火)～ 6月 27日 火) ・対応課 農林水産課 ・対応方法、結果 所有者より6月6日に補助金申請があり、受付～交付決定を行った。6月15日に実績報告の提出があり、工事完了を確認した。</p>		
担当課	農林水産課 契約管財課		

NO.	野市町 2	対応状況	完
市民懇談会カルテについて			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	<p>昨年度の懇談会の各地区のカルテを見たが、質問に対する対応状況等の後日回答について、きちんと対応して結果を記載されている項目もあったが、「検討します」「していきたい」との回答がある。「検討」の結果どうなったか、「していきたい」の後どのようなアクションを取ったか教えてほしい。</p> <p>カルテは、5W1H(WHY、WHERE、WHO、WHAT、HOW、結果)の視点を持って、結果の記載をすよう改善してほしい。</p>		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■</p> <p>【市長】</p> <p>カルテの状況を確認したところ、「検討します」のままのものもあり、再度、その後どのような対応を行ったか、検討した結果についてはどうなったかを追記するよう、地域支援課と各支所から庁内すべての課に周知を行った。各課が追記した内容については、地域支援課と各支所で協議のうえ、半年に1度など一定のタイミングで更新をしていく。</p> <p>また、カルテ議事録の改善については、5W1Hの視点をもって記載するよう周知は行っているが、現状として、すべてのケースで記載できているとはいえない状況にあり、誰が見てもわかりやすく、一定、統一したカルテになるよう、様式の見直しを考えている。</p>		
	<p>■後日回答■</p> <p>(1回目)</p> <p>・対応日 令和5年5月1日 (月)</p> <p>・対応課 地域支援課・各支所</p> <p>・対応方法 カルテの様式内に、完・未・継続の三段階の進捗状況がわかる項目を追加するよう修正。</p> <p>カルテの更新については、半年に1度のタイミングで更新することとする。</p> <p>回答については、当カルテの公表をもってとする。</p>		
担当課	地域支援課 各支所		

NO.	野市町 3	対応状況	完
婦人会の助成金について			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	来年度、婦人会が解散する地域がたくさんあり、市連合婦人会がなくなるかもしれないといわれている。婦人会は、市の助成金で活動しており、助成金は、一旦市連合に振り込まれた後、各地区の婦人会に配分されている。もし、市連合がなくなる場合、助成金はどうなるのか。自分の地域だけでなく、他の地区の人と知り合いいい場所になっているので、続けてもらいたい。		
地域への 対応状況等	■当日回答■ 【教育長】 もし、連合がなくなっても、下部の地域の組織があれば、今後も活動が続けられていくと思うので、その活動が止まるのは避けなければならない。今後も活動意欲がある団体について支援ができるように考えていきたい。助成金の流れを確認して回答する。		
	■後日回答■ (1回目) ・対応日 令和5年5月16日（火） ・対応課 生涯学習課 ・対応方法 香南市連合婦人会代議員会（総会）にて回答 ・対応結果 現在の連合婦人会の活動内容と同じであれば、助成金を交付することは可能かと思う。しかし、連合でなくなる以上は活動内容や範囲等、連合とは異なる箇所もあると思われる。要綱や助成金額等の変更も検討する必要があるため、まずは助成金が必要な婦人会側で「事業計画書」「予算書」等を作成のうえ、9月頃までに市に提出をお願いしたい。		
	(2回目) ・対応日 令和5年6月9日（金） ・対応課 生涯学習課 ・対応方法 香南市連合婦人会運営委員会にて回答 ・対応結果 9月までに今後の婦人会あり方について決定。地区ごとの婦人会が存続した場合、県婦人会との連携が可能か、市町村負担はないのか検証する。 【市としての方針】 ①組織として縮小しても、事業内容は継続して可能と判断された場合、市の補助金要綱の改正等で存続維持 ②県婦人会との連携等が単位組織として困難となった場合 市の補助金要綱の改正等で存続維持又はまちづくり自治会・協議会の中での婦人会（女性会）として活動 ③単位組織として婦人会活動の意義が明確とならない場合 まちづくり自治会・協議会の中での婦人会（女性会）として活動 ③の場合は要綱を廃止し、まちづくり協議会内での活動へ変更ができないものか団体と調整する。		
	(3回目) ・対応日 令和5年10月20日（金） ・対応課 生涯学習課 ・対応方法 地区婦人会へのアンケート調査実施 〆切 31日（火） ・対応結果 連合婦人会よりR6. 3. 31をもって解散すると報告があった。地区単位の婦人会に対し、「R6年度以降の香南市婦人会および女性会の活動内容に係るアンケート」を実施したところ、2地区の地区婦人会が存続すると回答があった。現在はこの2地区の婦人会に対し、令和6年度以降の活動計画を踏まえながら支援内容を検討する。 【市としての方針】 ①組織として縮小しても、事業内容は継続して可能と判断された場合、市の補助金要綱の改正等で存続維持。 ②県婦人会との連携は地区単位でも可能である。県連合婦人会へ確認 済み。		
担当課	生涯学習課		

NO.	野市町 4	対応状況	完
農福連携の体制整備について			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	市長の掲げる「多様性を認め合う共生社会づくり」の農福連携の体制整備は、現在どういう体制で、さらにどういう方向に行くつもりか。香南市の農福連携を利用することについて、今どうなっているか教えてほしい。		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■</p> <p>【市長】 農福連携については、昨年研究会を立ち上げて、これからどういう体制を作っていくか、研究している段階で、機能すれば多くの人にとってのいきがいの場所になると思うし、のちには香南市版のかたちを作りたい。 農福連携や、引きこもりのサポートなど、これまでなかなか言葉自体も出てこなかったり、そういう状況が知られてなかったというか、そういう情報が出せなかった状況において、多くの人に現状を知ってもらって、一緒になって暮らしていける、みんなが社会を構成していくものをつくっていきたい。</p>		
担当課	福祉事務所 農林水産課		

NO.	野市町 5	対応状況	完
空き家対策について			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	<p>地区にある空き家のうち崩壊寸前で、災害時に道路をふさぐ心配があるものがあり、毎年、市に連絡しているが、状況が変わらない。固定資産税が六分の一と少ないために、空き家が放置されていることが全国的な問題になっているが、これに対してどういう取り組みをしていくのか。</p>		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■ 【防災対策課】 今まで防災対策課が空き家の所有者と直接話をしたり、手紙を送ったりしたが、なかなか応じてもらえず、4月から担当課となった住宅政策課に引継ぎをしている。 他のやり方として、今は空き家の固定資産税が六分の一だが、委員会をつくって、特定空き家になれば、軽減措置がなくなり税金が高くなる。国はその方策を市町村に勧めているが、所有者がいない空き家を特定空き家にして、市が壊す場合の費用が最終的に市の負担になるかもしれないという不安もあり、この制度を使えていない。香南市でも危険な空き家が増えているので、もう一つ踏み込んだ対策が必要という状況であるが、現状では市が直接解体するのは難しい。 【市長】 高知県が一番空き家が多く、震災等でも危険である。京都市で空き家の条例ができるという話もあり、全国の状況を踏まえて、県と足並みを揃えて対策を考えていく。また、市長会を通じて、国会議員も含めて現状を国に伝えていく。</p>		
担当課	住宅政策課		

NO.	野市町 6	対応状況	完
災害に対する取り組みについて			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	<p>南海トラフ地震が20年以内に来ると言われており、数年前に野市中央病院前での市の災害訓練に参加したが、他市の訓練に比べると香南市の訓練は非常に遅れているという印象が残っている。その後、大掛かりな訓練が開催されているか。また、南国市は多くの病院があるが、香南市には病床を持つ病院が野市中央病院しかない。自助・共助・公助というところで自分の身は自分で守るというのが基本だが、香南市の災害に対する現在の取り組みや今後の計画について教えてほしい。</p>		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■ 【防災対策課】 野市中央病院の外来駐車場が南海トラフ地震時の災害医療の拠点になることから、数年前に訓練を行ったが、最近、コロナ禍であったため大規模な訓練が滞っている。コロナも明けていくので、今後、健康対策課と一緒にやり方も含めて検討していく。 【市長】 その他の取り組みとしては、国による海岸堤防の直轄化を要望している。現在、県内では、土佐市、高知市、南国市が堤防を国の直轄化で補強しているが、香南市もやっていきたいと思い、昨年度から4市で構成される団体の会長になった。県と国の協力があるが、国会議員、県議会議員にも応援してもらい、できるように取り組んでいきたい。</p>		
担当課	防災対策課		

NO.	野市町 7	対応状況	完
香南市の特性を踏まえた施策について			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	香南市は、県内でも人口減少率が少なく、若い人が増えているのに加えて独自の特徴があると思う。市の特性を踏まえた長期的な施策を、学識経験者等によるプロジェクトチームを構成するなどにより考えていただきたい。政策的な面で基盤を充実し、県内でも政策が突出しているという評価をしてもらえそうな方向を検討してほしい。		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■</p> <p>【市長】</p> <p>ご指摘の通り、県内でも恵まれた地域で、その特性を活かしてまちのビジョン、あり方を示していくことで若い方が住みたい、選びたいまちになっていくことが大事だと思う。ソフト面では、こどもまんなか社会、多様性がキーワードに挙げられ、大きな中長期的なまちのかたちを示していく第一歩として、公共施設のマネジメントを行う。それと教育委員会による保幼小中の方向性が合わさった段階において、まちのあり方を市民の皆様と考えていけるのではないかと、それを示すことでこれからの人口減少の中で香南市が選ばれ、持続していくことにつながると信じているし、そうしなければならないと覚悟を持って、しっかりとビジョンを示せるような取り組みを進めていきたい。</p> <p>まちひとしごと創生総合戦略に代わるデジタル田園都市国家構想もふまえて、デジタルと公共施設のあり方を市民の皆様へ提示して、その中でどのようなものが必要でどのようなまちとして進んでいくのか、南海トラフ地震の津波の沿岸部の方の不安を取り除きながらできる限りのまちづくりを進めていきたい。</p>		
担当課	市長		

NO.	野市町 8	対応状況	完
若い世代が参加しやすい町内会について			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	<p>この会場に若い人がほとんどいないのが残念。40代の方はよくわかると思うが、自分が社会に入るときから非正規が強まり疲弊し、30年経ってこの場に足を運ぶことができない、これを聞くことができないという人が多いと思う。</p> <p>町内会は若い世代と年配の世代と一緒に活動しなければならないが、世代間で意識の差がある。古い形で内容が進んでいて、形に囚われた町内会には入りたくないという若い人は多い。また、町内会の資料作成など、行政的な文書は、年配だからできるもので、若い人とはかけ離れている。市の窓口で「書類が足りない」「写真がない」と指摘を受けることもあるが、市は、若い世代が入りやすいような書類作成を考えてもらいたい。</p>		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■ 【市長】 ご指摘のように、町内会やいろいろな団体、組織が人口減少と同時に世代間の考え方とか状況によって大きく乖離しつつあるのでは、と感じる。私が子どもの頃は、高度成長の中での状況だったが、その後、失われた20年を生きた氷河期世代があり、その中でスキルを身につける機会を奪われた方々もいる。そういう方が、町内会において、パソコンで書類を作ることを重く感じて役員を引き受けられないとか、町内会から離れていくなどの原因の一つになると思う。</p> <p>それを補うためデジタル化により、スマホで書類ができるようなことを考えて導入しなければ実際に町内会などいろんな会が持たなくなる。ここ5年か10年が重要で、市役所でも情報政策課で、今まで一手間二手間かかっていたことが、できるだけ手軽にできることによって、もう少し楽になって、参加しやすい維持しやすいことができればと考えている。貴重なご提言ということで市のこれからの最重要施策のデジタル化の中で活かしていけるように取り組みたい。</p>		
	<p>■後日回答■</p> <p>(1回目) ・対応日 令和5年6月30日（金） ・対応課 地域支援課 ・対応方法 市民懇談会の後、地域活性化総合補助金やその他の補助金について情報政策課長に補助金申請システムの構築の協力依頼を行った。今年度の実績報告や来年度の申請からは、窓口へ来なくても気軽に申請できるシステム構築や、メールや申請システムを使った分かりやすい申請方法を実施できるよう取り組む。</p> <p>(2回目) ・対応日 令和5年12月25日（月） ・対応課 地域支援課 ・対応方法 3月に開催する自治会説明会において、紙の申請書だけでなく、メールや申請システムを使った申請方法を説明し、来庁しなくても申請が実施できるよう計画する。</p> <p>(3回目) ・対応日 令和6年12月25日（水） ・対応課 地域支援課 ・対応方法 R6年度よりふらっと座談会、出前講座については電子申請システムを使用した電子申請が可能となっている。地域活性化総合補助金については電子申請システムを使用することに伴う事務の煩雑化を考慮し、システムを使用した申請受付は行っていないが、HPへ様式を掲載し、メールにて受付ができるようにしている。</p>		
担当課	地域支援課 各支所 情報政策課		

NO.	野市町 9	対応状況	完
	ごみの対応について		
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	<p>ごみの対応のことでお礼申し上げたい。年度末に地区のごみステーションに引っ越しのいろいろなごみが大量にあり、対応に困って環境対策課に相談に行くと、すぐに取りに行ってくれて非常にありがたかった。</p>		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■ 【市長】 環境対策課、市職員全体が「ありがとう」という言葉に励まされ、もっと頑張ろう、もっと寄り添えないかな、ということを考える機会になる。これからもできることばかりではないが、できる限りまずは考え、行動できる市役所を目指していきたい。</p>		
担当課	環境対策課		

NO.	野市町 10	対応状況	完
情報政策課と各課の連携について			
受付	令和5年4月19日 水曜日 野市町市民懇談会で意見聴取		
要望・意見	<p>自治会と自主防の役員をしているが、自治会では若い世代、後継者不足が悩みになっている。デジタルトランスフォーメーションをやっていくという話だが、情報政策課と各課の横の連携をとってやっていただきたい。</p> <p>野市町では自治会ができにくい、あっても休止しているというのをよく聞くが、深刻な問題だと思う。自主防もなり手が少ない。野市町は他の地区と比べて、危機感が薄いところがあるので、防災対策課も悩んでいると思う。時間を区切り、目的を持って、選択と集中の施策によって行くと、南海トラフの際にいいかたちになると思うので横の連携をとってやっていただきたい。</p>		
地域への対応状況等	<p>■当日回答■</p> <p>【市長】</p> <p>情報政策課は、横の繋がりというか、まずは各課の現状、各職員の机の周り50センチとか1メートルの範囲でデジタル化できるものを見つけて、係、課、そして全体とボトムアップでデジタル化を進めていくことが大事で、それと同時に、各課の特性や必要なものを拾い上げるように指示をしている。</p> <p>町内会・自治会・協議会については、難しい課題で本来は期限を定めて進めていくことが形をつくることにつながるが、現状は難しい。かつて町内会でやってきたことを、今の若い世代には地域を飛び越えて仲間づくりができるSNSやインターネットの世界があるため、物理的な距離がほとんど意味をなさず、ある種のコミュニティというのが簡単にできる時代の中で、それでもなぜ町内会・自治会が必要か、南海トラフ地震や昨今の豪雨を考えると、暮らしの中の役割として町内会・自治会があることの必要性を周知していけるように取り組んでいく。</p>		
担当課	<p>情報政策課 地域支援課 各支所 防災対策課</p>		